

【環境社会実験】

未来プロジェクトin仙台

（最終報告）

令和4年3月14日

仙台農業協同組合

女性部岩切支部 支部長 中川 孝子

1. 企画内容

「岩切」という地域の特性である、身近な「田畑」を利用し、転作物である「大豆」を使った学習機会の提案を行います。

- ① 夏(夏休み期間 8月頃を想定)に親子を対象として、畑の作物である「枝豆」の収穫体験を実施。
※ 土や作物に触れる体験を通じて、地域の農業を知り、環境について考えます。
- ② 秋(11月頃)に「大豆」の収穫を体験。
- ③ 秋(12月頃)「味噌」づくり体験学習を実施。
生産される作物が先人の知恵と工夫により、様々なものに形を変えて「食」が形成されていることを学習します。

2.これまでの取り組み

- 親子夏休み体験会の開催
- 開催日 令和3年7月31日(土)
- 参加者 10家族(21名)
- 体験会の内容
 - ✓ 圃場での枝豆の収穫 等



3.親子収穫(大豆)体験会

- 開催日 令和3年11月20日(土)
- 参加者 10家族(20名)
- 体験会の内容
 - ✓ 収穫(豆ぶち)

この棒、何に使うのかな？
変わった形の棒もあるよ。



力の加減がむずかしいね。
良く見えないけど、豆落ちてくるのかな？



きれいな豆が沢山出てきたよ
頑張って残さず全部集めようぞ！



3.親子収穫(大豆)体験会

➤ 体験会の内容

- ✓ 煎り大豆づくり
- ✓ きな粉づくり

香ばしい香りがしてきたぞ！
お腹が空いてきたかも。



あれれ？
豆が碎けて粉になっちゃった？

大豆からきな粉を作るのって大変なんだね。もう少しで完成かな。頑張るぞ！



4.親子味噌づくり体験会

- 開催日 令和4年2月12日(土)
- 参加者 7家族(14名)



コロナウィルスの感染拡大から、開催が出来なくなり、仕込み済みの味噌をお配りして、各ご家庭で熟成(10ヵ月)させる方法をご説明しました。皆さん、熟成期間の長さ
に驚かれながらも大切にお持ち帰りいただきました。
身近な食べ物大切さを感じていただく機会になりました。

5.振り返り

今回の企画は、参加者体験型の学習活動を通じて、参加者の中に、様々な“気付きの芽生え”を生み出して行くことをコンセプトに取り組みを行いました。

参加者には“枝豆・大豆の収穫”から“煎り大豆づくり” “きな粉づくり” “味噌づくり”に至るまで、一連の作業を体験していただきました。

今回の体験を通して、参加された地域の皆様に、身近な食材や農業・環境に関して、改めて考え・興味を持っていただく機会となったなら、企画者として大変嬉しく思います。

こうした取り組みを通じて、岩切地区の皆様の「食べ物・農業・環境」に対する関心と理解が、今後も広がり、子ども達に引き継がれ、守られていくことを願っております。